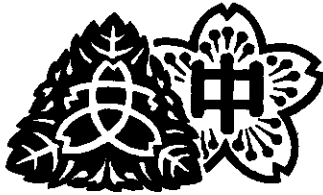


東京桑野会会報

●昭和58年9月1日発行●発行・編集人 澤田悌●発行所 東京桑野会事務局=東京都中央区銀座原ビル6F・武藤一駿法律事務所内

3



ごあいさつ

安積高等学校長

村上啓正

東京桑野会の皆様、益々ご健勝にてご活躍のこととおよろこび申し上げます。去る4月15日、椿山荘にて開催されました総会ならびに懇親会にご招待いただき、和気あいあいのなかで、母校発展によせられたあたたかいご声援に対し、心より感謝申し上げます。

愈々来年は福島県下高校のトップをきつて母校創立百周年をむかえます。創立以来百年、質実剛健の気風を高くかけ、開拓者精神をもって学んだ2万余名の同窓、先輩の魂が宿っている創立当時そのままの校舎であった「旧本館」は国の重要文化財に指定され、無言のうちに母校百年の歴史と伝統を私たちに肌で感じさせております。

私達教職員、生徒一同、創立百周年にふさわしい教育内容の充実という大きな目標をかけた、これが実現をめざし全力投球しておりますので、先輩皆様方のより一層のご声援よろしくお願い申し上げます。ごあいさつといたします。

会長就任にあたり

東京桑野会会長

42期 澤田 悌



去る4月15日に開催された東京桑野会定時総会において、不肖私が会長を仰せつかり、壁谷前会長のあとをお引きうけいたしました。母校創立百周年を迎える時期にも相当し、その責任の重大さを痛感いたしている次第であります。またこの機会に副会長、幹事長及び副幹事長も全員交代し、常任幹事陣も更に充実されました。今回退かれました壁谷前会長には長年にわたり東京桑野会のためにご尽力下され本当にありがとうございました。そのご功績をたたえますとともに今後は名誉会長にご就任の上、後輩のご指導をお願いすることといたしました。また前会長を扶けてご尽力下さった今泉前副会長、佐藤元副会長には顧問にご就任をお願いした次第であります。

考えてみると、同窓会というものはその存在の意義、在り方及び運営の仕方などに難かしい点が多いものです。しかし、余り難かしく考え過ぎない方が良いでしょう。それで第一に桑野の母校に学んだという共通の経験に結ばれた同窓生が、東京においても互いに相親しみ合う会にしましょう。第二にみんな仲良く、楽しい会にしてゆきましょう。第三に、何んらかの意味で会員の頼りになるような面もある会にしてゆきましょう。…という風に

考えてはいかがでしょうか。

そのためには先輩はできるだけ後輩のためを考えてやり、若い人たちもどんどん入会して活力ある会にしたい。会費を払っても払いがいのあるような会でありたいものです。新役員陣もそうした理想をもって、新しい意気込みで活動してゆきたいと思っております。会員各位のご協力とご鞭撻が心要です。どうぞよろしくお願いいたします。

ボン・ボヤージ

副会長

45期 矢吹陸郎

去る5月28日にクラス会（昭和8年卒で45回生なのでやよい会）の卒業50周年祝賀会があり、東京方面からも7人程参加したが、見事に復元した重要文化財の旧校舎を見たり、そこで頌歌を歌っている沖ちゃんの句集や朝河博士の小冊子を手に入れて、その夜は磐梯熱海に泊まった。参ずる者35名で、実に半世紀ぶりに会う友も数名おり、地元側も滝田元二安積桑野会会長はじめ多数。実に楽しい集いで今更のごとく良き母校をもつ幸せを感じたことでした。

さて、去る4月の東京桑野会総会で敬愛する沢田 悌先輩が新会長に決定したについては双手を挙げて賛成だが、天の声とかで小生が副会長とは弱りました。沢田会長から「誰かがやんなくちゃ仕方あんめエ、観念しなよ」とのこと。会長とは汽車通学組で一緒であり、令弟信六郎君とは同期という個人的関係はとも角

として「みんなが集まりたくなるような楽しい会を」という基本方針に全く同意であり、竹花則栄新幹事長他の幹事諸公の熱と意気に伍して、明るく開かれた東京桑野会づくりに微力をつくしたいと思います。会員各位のご協力によって沢田丸の“ボン・ボヤージ”をなにとぞよろしく願いいたします。

名簿づくりから

幹事長
55期 竹花則栄

名門校、伝統校として、我々同窓生は社会に出てからも常に母校に誇りをもって歩んできた。今でも重要文化財の母校は学舎に励む後輩を熱いまなざしで見守り、励ましてくれております。その母校が来年は創立百周年を迎えようとしているこの重大な時に今回幹事長という大役を仰せつかり、事の重要性を身にしみ感じていた次第です。だが幸いにも新しくお迎えした沢田会長のもと役員諸兄が総力をあげ、ご協力いただけるということで気を強くしている次第です。

魅力ある会の運営をするためには基盤が第一で、その基盤は我々東京桑野会の新名簿作成です。東京桑野会創立以来、会員の方々がご苦労されて作成した名簿と今回本部が創立百周年記念に発行された名簿とを参考に一日も早く発行の運びとする考えです。

昭和57年に東京桑野会創立以来はじめて記念すべき第一回の会報が発行され、その会報を手にとり自分が安積の

健児であったこと、阿武隈の水で育ち磐梯おろしの寒風にあたり、若草萌ゆる安積野に在りし日を偲び感激されたというお便りが沢山ありました。

今後は会報を充実し、回を重ねて行きたいと存じますので、原稿の執筆や個人企業の広告等ふるってご協力をお願いいたします。

今後は事務局も一層精力的に情報を集め、会員の皆様方のご協力により名門校にふさわしい名簿を発行し、組織拡充に努力いたす所存です。来年の東京桑野会主催の創立百周年には奮ってご参加いただき盛会にし、百周年の意義ある歴史の一コマにしたいと念じております。

澤田悌さんの思い出。



43期 鎌田正二

澤田 悌さんが東京桑野会の会長になられたが、それにつけても思い出すことは50数年前のことである。

昭和5年2月のことであるが、高校受験のため上京される際、偶然一級上の斎藤 実さん、柳沼久弥さん、澤田悌さんの3人と同車した。そして斎藤さん、柳沼さんの2人は一高に、澤田さんは浦高に合格されたが、小生は見事に落ちてしまった。その後、病氣したこともあって3年後にやつと一高入れた。そのため、うまくいっていたら、この方々と同級生になれた筈が3年後輩になった。

小生が浪人中、斎藤さんは一高撃剣

部の赤城山での合宿中、赤城沼でボートが転覆して亡くなられた。小生は弔らいの意味もあって、斎藤さんと同じ文科丙類を受け、撃剣部に入った。

柳沼さんは医学部に進まれ、後年国立郡山病院の院長をされていたが、昭和52年に亡くなられた。想えば昭和5年、一緒に受験のため東北本線に乗った4人も2人だけになってしまった。

澤田さんには、その後いろいろお世話になったが、とくに昭和30年頃、澤田さんが日本銀行熊本支店長時代、小生は新日本窒素水俣工場にいたので熊本に出かけては澤田さんと一緒に飲んだ。澤田さんは、その人柄で熊本の実業界で大変評判がよかったが、花柳界においても然りであった。その澤田さんと同席したのでおかげをもって小生も楽しく遊ぶことができた。光陰実矢の如し、あれから30年たったが、今でも感謝している次第。

安積百年に向けて歩く...

校内幹事
66期 仲村哲郎

「昭和2年11月12日、東京桑野会に一谷源八郎学校長参加」...

当時の「教務日誌」をひもといていたら、一行記されていました。「安積中学校同窓会」が在校生から離れて、出発したのは、大正14年の7月のようですが「桑野寮」などを開設して故郷とのつながりが強かった東京の同窓会の皆さんには早くから動いておられた

千葉ファイニンググループ

代表 鎌田正二 (第43期)

千葉ファインケミカル(株) / (株)ナプコ / 五井プラスチック(株)
神田翻訳サービス(株) / 市原不燃物処理(株) / チツソハウス興業(株)
(株)東京シンクサービス

ことでしょう。

「須賀川まで遠足に行き、昼食後突然、帰りは学校まで走って帰るという
ことで、第1回のマラソン大会になっ
てしまったように思うのだが、その時
私は第1位になった。なにしろ石庭か
ら郡山、桑野まで20キロあまり、早足
で往復することが多かったのね」と
いうのは先日の総会で、後藤憲平さん
(25期)が話してくださったこと。

私は早速メモしました。

東京桑野会会報第2号をいただきました。
そこには石川照雄さん(64期)
の卒業記念サイン帖の話がのっていま
した。先生方の一言が紹介してありま
す。椎野先生、鳥影、滝田、中野諸先
生など、私はいま故郷で「旧職員会」
などでお会いして、いろいろとうかが
っています。先日、福島におられる
吉田安世先生(体育一昭和4年から昭
和20年5月まで在職)を訪れました。
昭和のはじめ、競技部の3年連続の県
大会制覇。主将が学校長と並んで人力
車で凱旋をしたことにはじまって、い
ろいろな懐旧談。旧師、同僚のことにつ
いては、やよい会報(45期の製作)
に書き送ったので読んでくれといわれ
ました。

まとまりなく書き並べましたが、実
は来年にひかえた創立百周年の事業の
1つとしての「安中・安高百年史」を
どうまとめあげるかということで、読
んだり、聞いたり、歩きまわったりし
ております。まとまりなく記したよう
なコマを、どう生々しくまとめあげ
るかが、私どもの大きな課題です。
どうか、どんなお話でも、どんな小
さな紙片でも結構です。母校の方へお

せください。

昭和58年度の東京桑野会総会の成功、
おめでとうございました。25期から90
期までの百余名の歌う「天地の正気」
は壮大なひびきがありました。みなさ
ん、ご壮健に百年をお迎え下さい。

わが期の近況 です。

49期 大森直道

「四九会」一変な名前だが「よくな
る会」と読んで会員一同、意気盛んで
ある。この3月4・5の両日、水戸
近郊の^{ひねま}酒沼の地で全国大会をもよおし
おおいに氣勢をあげた。

我々世代の歴史を簡単にふりかえつ
てみると、昭和初期ウオール街の株価
暴落に端を発した世界的な金融大恐慌
そのあおりをくつて日本も銀行倒産な
ど今の常識では考えられないパニック
をおこし、身の廻りの銀行が大扉をお
ろすのを目のあたりにした。

ひき続き、長い長い不況に入る。

そのさなかに安積の門をくぐった我々
49期生は、一学級減級という異常な体
験をすることになる。

昭和6年満洲事変、7年、5.15事
件、11年、2.26事件、そして12年
には支那事変が始まっている。昭和13
年14年は我々の徴兵検査の年であり、そ
の日常座臥、生死と対決する時代に入
るのである。昭和16年大東亜戦争、
国家総動員。兵隊、徴用工、銃後とそれ
ぞれの立場で、死力を尽くし国の命運
に立ち向かった。昭和20年、敗戦、
戦後の混乱、日本復興と、まったく私

生活のない働きを当然のつとめと心得
て果たしてきた。今、泰平を詠歌する
世となったのは大慶至極である。

今度の大会で我々がまとめた結論は
「青春の大半を自分の意志以外の力に
よって消耗してきた我々は、今後、

1. 仕事をもっている者は、その仕事
に全力をつくそう。
2. 社会奉仕に携わる者は隣人に限り
ない愛情を注ごう。
3. 趣味に生きる者は畢生の名作を残
そう。
4. そして不幸、病を得た者は、しぶ
とく自分の生命を守ろう。…とい
うことであつた。

来年は開校百周年である。50年前、
我々は在校3年生であつた。クラスメ
ート、鈴木康資作曲の50周年奉祝歌を
高らかにうたいあげた我々が、また大
挙して百周年記念祭に参加できるのは
またとない幸せである。

生徒手帖

69期 齊藤英彦

私が安積高校に入学したのは昭和28
年のことで2年生のときに創立70周年
を迎えました。いろんな記念行事があ
りましたが、私も演劇班が日本館2階
講堂で上演した小山内薫作「息子」で
息子の役を演じたのを今でも懐しく思
い出します。

先日、古い書類を整理していたら当
時の「生徒手帳」が出てきました。そ
の職員住所欄の余白に「ライオン」、



営業種目
給排水衛生設備
空気調和設備
設計・施工

株式会社 弥生工業

東京都品川区大井5丁目24番11号 ■神奈川支店 ■横浜営業所
電話 東京 03 (763) 5231 番(代)・4751 番(代) ■川崎営業所 ■町田営業所

代表取締役 大森直道 (第49期)

「トックリ」「パチクリ」など先生のあだ名が数えてみたら24も書き込んでありました。入学早々できるだけ沢山の先生の、あだ名を覚えるのが、安高にとけ込む第一歩だったように思います。私達、高校8期生は「蜂の巣会」と名付けて4年に1回、オリンピック開催の年に盛大に同期会を開いています。また私のいた1組（椎野喜勇先生担任）は「椎の実会」と名付けて毎年1回、郡山でクラス会を開いており、本年は8月27日に椎野先生ご夫妻をお招きして、はじめて東京で開催することになっています。そして在京者による同期会をも、そろそろ結成しようではないかと仲間と話合っており、ぜひ近い将来、実現したいものと願っております。

先輩の有難さ

52期 吉田弘俊

先にサンケイ新聞に沢田会長の交遊等について連載された。それによるとわが国、史上未曾有の敗戦後、経験したこともない大インフレーションが到来した際、見事に「新円切替え」の歴史的大事業を企画、実行されたのは、日銀では、若き日の佐々木直氏（後の日本銀行総裁・現経済同友会代表幹事）と沢田先輩等であったという。

これは当時、極秘裡にお二人のみでプランをたてられた故か、国民の多くには余り知られていないようである。

いや、これらはむしろ、自からは自分たちの手柄等を絶対に表わさないと、お二人の立派なお人柄に由来するものと私は思う。



しかし、あの敗戦の混乱期に、このご両名が日本銀行におられたのは、わが国民にとって極めて幸運なことであったと、後世の歴史家は必ずや評価するであろう。

このような国家的業績等についてはなく、極く些細な私事に関わることで甚だ恐縮ながら、沢田会長のお人柄についてエピソードの一端などを紹介してみたい。

さて、昭和24年頃の日本は、まだ連合軍による占領下にあった。その年、3月7日にはGHQ経済顧問のドッジ公使による超デフレ政策（インフレ収束のため米国に依存の竹馬経済からの脱却と財政超均衡の荒療治）が強行された。その一環として5月30日には行政職公務員26万7300人の首切りを内容とする定員法が成立した。

一方、今でも真相不明の下山事件、（7月5日）や松川事件（8月17日）等が次々と発生し、まさに世相は騒然たるものがあつた。

このように政治、経済・社会その他あらゆる面で不安、不穏の極に達した観があつて、学生にとっては大変な就職難の時代でもあつた。それで当然ながら採用する側における身元や思想調査は一段と厳しくなっていたので、学生間では「余程つよいコネ（当時の世相を反映して発生した流行語）がなければ絶対にダメ」というのが常識のようになっていた。

田舎出で敗戦の憂き日にあつた海軍しか知らない私にコネなどあろうはずがない。私は高木教授の推薦書をもって日銀の採用試験を受けたが、果たして、口頭試験が行なわれる前に、銀行の人事部員から渡された身上申告書用紙を見ると「本行役職員、又は出身者の中に関係のある者の氏名（間柄）」という項目があつた。

そこに何か書入れている人もおり、私は仕方がないので、その欄には大きく斜線を引いた。そのうえ口頭試験（数人の重役のほか有力部局室長等約10名が試験官）の際に、尊敬する人物を尋ねられて大失敗を演じてしまった。返答に困っていると山田調査局長（あとでわかつたのであるが）が「君は塾だから、福沢先生じゃないかね」と助け舟を出して下さつた。それに対し直ちにイエスといえよかつたのに「福沢先生は父が塾に入る前に亡くなられた方で、勿論お会いしたこともないので（yesというのには）自信がありません。しかし、それで思い出しましたが、お会いした方の中では山本五十六大将を最も尊敬しています」と答えた。

試験官達からは予期しない大爆笑が起つた。私はすぐに（これは最もマズイことをいつてしまった）と気づきてつきりこれでダメだなと覚悟したが、思いがけなく、日本一の難関といわれた日銀に入行を許された。

自分でもなぜ採用されたのか全く不可解であつた。さればとって「その辺の事情」を尋ねるのは、公正な銀行当局に対して、甚だ不遜なことでありあえて今日まで聞こうともしなかつた。

FROZEN FOOD

五十嵐冷蔵株式会社

〒108 東京都港区芝浦 2-10-5

TEL 03 (451) 1111 (大代表)

テレックス 242-4442

常務取締役 吉田弘俊 (第52期)



ところが、今年4月3日、長男の結婚披露宴の席上で、主賓の五十嵐虎雄氏（当時の日銀理事、人事部長委嘱、野村総合研究所会長等幾多の要職を歴任）が“その辺の事情”について初めて詳しく公表されたのである。

即ち「今日、新郎の親子二代にわたるご媒酌人の沢田会長さんは、昭和24年頃、私のもとで人事課長をしていた。私は中学の後輩である吉田君のことは同君に任せると指示した」とのことである。沢田会長とは正にこのような方で、私も妻も、その席上で思わず目頭が熱くなった。

一番大事な岐路に当たって、私も全く知らないところで、親身も及ばぬ、お取り計らいをされていて下さったのである。しかし、安中・剣道部で沢田先輩の二年後輩の兄（44期、須賀川市在住）は＜阿吽＞の呼吸で、その辺の事情を察し、私に「沢田先輩のご高恩は生涯忘れるな」とすぐに手紙をくれた。

沢田先輩には日銀ご在職中も、その後も公私にわたってご相談申し上げたり、ときには、こんなことを相談しては申し訳けないと遠慮したことも多かったが、私は日銀の入行試験などの経験を通じ、つくづく“HONESTY IS THE BEST POLICY”（正直は最良の策）と思っている。あの口頭試問で正直に「山本五十六大将を尊敬する」と申し上げたが、どうやら前述の五十嵐虎雄人事部長は、それが気に入ったらしい。…というのは、これもあとで知ったことだが同氏は新潟県立長岡中学で山本大将の後輩に当たり、か

ねてこの同郷の先輩を尊敬しておられたからです。また、たった一度の敗戦で掌をかえたように同大将と、その家族をまで、国賊扱いのようにしていた日本人一般の無節操さに、憤慨されていたとのことでした。とまれ、沢田先輩や五十嵐氏のことを考えると、戦前のいわゆる伝統名門中学には、いかにも骨太の男らしい剛健な気風が脈々と流れていたように感ぜられてならない。

この夏、桑野会会員の皆様が健康でさわやかに過ぎることを念じながら



母校の桑野移転とその背景

49期 東原秀夫

明治19年「一県一中学校」を方針とする中学校令により、開校した福島尋常中学校が安中と安高のルーツであり開校3年後、同校が突然安積郡桑野村へ移転（福島市から）したことが激的な県庁争奪戦の副産物であったことは周知のことである。福島県議会百年史によれば、県庁移転問題の口火を切ったのは明治16年の議会で大沼郡、安積郡、郡山選出の三県議が「県庁を安積郡二移スノ建議」を提出したことに始まる。この建議は信夫、伊達、相馬の猛烈な反対に遭ったが、その後、再三の討議の結果、圧倒的多数をもって可決され、県の北端に僻在する県庁は最

高の立地条件をもつ県央の郡山への移転が正式に決定した。これに対して敗れた三郡の議員は緊急三郡民大会を福島市で開催して氣勢を挙げ、若手の論客、鐸木某などの代表を上京させ中央政府に対して激しい運動を展開した。そして中央における両派の活動は日と共に激しさを極めたが結局、中学開校の明治19年に内務省は福島県会の上申書が無惨にも却下、妥協案として福島市から一番遠い東蒲原郡を新潟県に編入することを示したが、開校早々の県内唯一の福島中学校を安積郡桑野村へ移転することをもって、移庁派も最終的には納得したようである。福島県政史、の編者は怒りを込めて、その責任を次のように問うている。

「嗚呼、県下22郡中、僅か3郡民の要望を容れたる当時の内閣の心度や如何。また小なる自己郷土擁護のために熾なる撤廃運動に尽力したる旧福島藩主、板倉勝達らのために19郡民の福祉は蹂躪せられ、本県文化進展上に一大暗影を残され、剩さへ立憲的地方議会の一案は破棄されるに至った。彼等の本県政に対する責任は何を以て現代の福島県民に償い、而して相まみえんとするか」としている。

移庁派のリーダー、安積郡選出の石田儀平氏は、郷土安積の振興を生涯の目標とし、県議、安積郡長として、官有地払い下げや岩越鉄道（磐越西線）の早期開通などに努力、達成した。石田家は四百年近い歴史をもち、西安積一の山林地主でもあるが、その資産の相当部分を抛つてまで、ひたすら郷土安積の発展に捧げたのである。

新しい時代の「安中」を単に「か」

本年12月3日

〈新館〉オープン

只今、ご婚礼・ご宴会ご予約承り中。

- 800名様までの日本料理・フランス料理着席ご披露宴。
- 2,500名様までの国際会議・パーティー、園遊会、フアンクションショーなどのお集まりに23の大小宴会場。
- 庭園での記念写真も随時お撮りいただけます。
- 14面の映像を映し出す「トライブビジョン」。
- チェアベルトの挙式もできます。
- 左右30mの超大型スクリーン（ベックビジョン）。

■ 最新機能の音響・照明設備。

海外担当支配人
竹花剛栄（55歳）

4年の誇りに磨かれた

椿山荘

CHINZAN-SO

東京都文京区関口2-10-8
☎03(043)1111
G 藤田観光

60歳まで 劣等生。

58期 星 武典

「甲乙丙丁戊己庚辛壬癸」これは漢文の試験でなく、私が2年のとき、地理の答案の中に書いた一節である。

地理の先生はベチヨさんこと、松田先生であつた。あまり勉強もしていない私にとっては、いつもの通学列車で登校したのでは赤点をとるのは、火を見るよりも明らか。眠い目をこすりながら1時間早い6時

の汽車にとび乗り、郡山駅より学校までの1時間を地理の勉強にあてるべく、早起きした次第。



駅につき「さあ頑張るぞ」と思って歩きはじめた途端「星、一緒に行くべ」と3年上のY先輩に誘われたのが運のつき。先輩が本を出して勉強しはじめたので、私も本を読みはじめたところ「星、本を外套にかくせ」なんのことやら分からずに、そのとおりにして先輩の顔を見ていると「よし、本を出せ」このくり返しが2、3回あつたところで「なんで、本を隠すんです？」と尋ねたところ「星、女学生はな、中学生が試験だつてこと分つてんだ。俺達が本を読んでないのを見れば、あゝあの中学生は秀才だなと思うべ、だから隠すんだわ」との仰せ。ごもつと、面白くて図に乗るのが私の性癖。—

校門の近くになり、心細くなつて先輩にヤマを尋ねたところ「星、図画鉛



58年度定時総会で挨拶の澤田新会長

筆もつつか？ベチヨさんは目が悪いので図画鉛筆で書いた上で、手のひらで、こすりつければ大体乙はもらえつつか」とのアドバイス。

「なにも勉強していないので弱つたなあ」というと、「文の中に甲乙丙…いろはにほへと、a b c…なんでもいいから一杯書いた上で手でこすれ」試験問題は「満洲における農産物について記せ」という大きな問題。さあ弱つたと思いうかべるだけの野菜を書いてはみたものの、3行書いたところで終り。ままよとばかりに言われたとおりに答案作成。紙面の半分を飾つたところで、純真無垢な私は手のひらでゴシゴシ…あとの半分も、この伝で思っている矢先、頭をゴツン！

「星、先生に対して、こんな汚い答案を書くのは失礼だぞ」と監督のK先生。しばらく様子をうかがいながら、背に腹はかえられぬとばかりに、又も続行。通信簿の成績は、みんごと—「乙」K先生の覚えは劣等生。然しY先輩のお蔭で見事進級。感謝感激。

後日談、— Y先輩は今でも交際を戴いている須賀川のお医者さん。K先生は川崎でT高校中学の理事長兼校長先生として、今もご健在。同級のI君のとりなしで、今はK先生の学校法人の監査を5年前より恩返しとばかりに厳しくやっています。こんな私を今日あらしめてくれた先生、先輩そして同輩に心から感謝しています。

頑張れ安積の 健男児！

79期 大竹英雄

4年前、初めて東京桑野会総会に出席した。参加のきっかけは、私の出講している日大農獣医学部に先輩の教授がおられるのを知り、お会いして会の存在を教えていただいたことからである。そして、なんと、この僅か1学部だけで3人もの先輩が、それぞれ重責を担っておられることがわかり、今更ながら安高の歴史と伝統を感じたものである。

その先輩とは佐藤 貞、太田亨二、長尾壮七の各氏である。

昨今、大学はレジャーランドなどと揶揄され、モラトリアムの場となり、各大学のカラーも不鮮明である。学生間で取り沙汰されるのは「今イ（ナウイより進んでいる）」とか「芋イ（いなかくさい）」ぐらいであろうか。遡って高校はどうであろうか。今日の受験競争は激しい。しかし、受験勉強だけの学校ならば予備校で事足りよう。

予備校に、校風があるとは思えない。私が在籍した当時、初期の校長は



津口信男先生であつた。先生は、クラブ活動を奨励し、人気があつた。あらゆる課外活動が活潑であつてこそ“海内比なき”校風や質実、真摯、進取の気性は醸成され、受け継がれてゆくことと思われる。

“母校百周年”を迎えるまでに、甲子

中外製薬

成分が変化した胃の結構を保護します

胃の痛み、もたれに

中外胃腸薬

60錠
120錠
《携帯用》144錠

いたわるのは、
あなた。
守るのは、
中外胃腸薬。

松本幸四郎

園出場のチャンスは、あと3回となった。野球部選手諸君の健斗を祈りたい。

社会で投手を目指す者、捕手たらんとする者、外野に在らん信念で、本塁打をカッ飛ばそうと意気込む者、社会のさまざまな分野で、わが安積の健男児は、めざましい活躍をしているが、母校創立百周年を前にし、次期総会には79期諸兄の多数参加を期待している。

ちよつと気になる健康講談。

76期 保坂武門

つい最近、厚生省からの7月2日付で発表された平均寿命、男74.22歳・女79.66歳、女性80歳時代へ、依然世界1・2位へ、などと報道された。

このとき私は、ちよつと疑問をもつ破目になってしまった。なぜなら平均寿命とは何物や、確かに私の祖父は長生きだといわれ、76才で他界し、父は3年前に72才で亡くなった。二人とも死ぬまでは一度も病氣もせず、寝たこともない二人だった。このようなことを考えながら本屋の前に立っていた。目の前に一冊の本があった。この本の中の1項目に「平均寿命のウソ」と書いてあった。この中の一節に「平均寿命が伸びたように見えるのは、ただ新生児、乳幼児の死亡率が医学、薬物の発達、つまり細菌などによる病気を医学の救世主、抗生物質が救ったため、



激減したからに過ぎない。つまり平均寿命とは、そのときの0歳児の平均余命（その年齢を基点にして、平均あと何年生きられる可能性があるか）のことなのである。だから0歳児の死亡率が低下したために、寿命の平均が伸びているという数字的結果がでていただけなのだ。平均寿命という指標の出し方は誤解を招きやすいから、やめた方がいいという学者もいるくらいだ」と書いてあった。たしかに私のまわりにも、ある日、突然、心筋硬塞、ガン、脳血栓でこの世を去った知り合いが多くいる。わずか30代、40代の年である。このことは現代の成人病の多くは、食生活に大きな原因がありそうだとされております。ここで安積健児は「たべ物は口でたべる時代から頭でたべる時代」という言葉をかみしめて、健康な体と楽しい人生をお送り下さい。

《参考》①食品の食性を参考に陰・陽酸アルカリ食品をバランスよくとる。②健康によくない白砂糖、精白米、人工調味料などはとらないようにする。③食事時間を毎日規則正しくとり、間食、夜食はせず、ゆっくり時間をかけ、楽しい雰囲気よくかんでたべる。そして腹8分目にとどめること。④インスタント食品などに頼らず、手づくりのものをたべる。⑤野菜は少なくとも5種類以上、葉菜、根菜、果菜などをとりまぜる。なお果物は野菜のかわりをしない。⑥新鮮な植物油（不飽和脂肪酸を多く含む）を毎日とるようにする。⑦「一物全体」すべて丸ごとたべること。⑧「身土不二」できるだけ自分の生まれたところ、生活している土地のものをたべること。⑨できるだけ「しゅん」のものをたべるように心掛けること。…などですが本年後半もぜひ健康で過しましょう。ノ

はじめての総会のこと。

90期 荒井広幸

「あさか」の響に、走馬灯のごとく思い出は尽きません。

卒業して間もない私のような若輩にして、こうなのですから、東京桑野会にご参会の諸先輩にあつては言わずもがなであろうと推察いたします。

総会の席上、挨拶に立たれた最年長後藤憲平先輩（25期）は次のような話をされた。

「私が、今こうして元気でいられるのも寮生活を通じ、剣道でみっちり鍛えられたからです」—先輩には本当に安積が生きているのだなあと、ジーンとくるものがありました。

不思議なことに、あちらこちらで歓談される先輩方を見ていると、時節や年齢が、生活の場や生き方が違っていても「紫の旗」のもとに結ばれていることを肌感じて、うれしさやら、心強さやらで一杯になりました。

その後、最年少ということで挨拶の栄をいただき「我々の代にも、安積魂は脈々と生きておりますノ」と大声でじやうたのは、それらの感激のあまりであつたと思います。私にとって初めての東京桑野会総会はこのように印象深いひと時でありました。

最後になりましたが「若い世代の参加が少なくてさびしいことだ」とお聞きして、微力ながら沢田会長、竹花幹事長をはじめ諸先輩のお手伝いをさせていただきますと思っております。

有利さで選ぶなら

中期国債ファンド

1カ月複利の効果で
いつでも一番有利



かいせい

借成証券

本社 東京都中央区日本橋兜町13-2
☎ (666) 1431 (大代表)

本店営業部長 近内靖夫 (第69期)



事務局から

売家3万(新円) 三鷹駅15分
環日良空直住借地58坪建18坪半
井瓦(持主)———これは昭和
21年3月、現実に購入した不動
産の広告です。新門とはどんな
ものかお分かりいただけますか。

敗戦のどん底から昭和元祿の
今の姿に立ち直る第一歩は新門
の切替えでした。この昭和史の
一頁が吉田弘俊氏の記事から、
すばらしい新会長を戴いたもの
だと、不勉強な編集子もはじめて
知りました。ところがこの記
事は会長から掲載まかりならぬ
旨クレームがつかしました。お人
柄からはごもつともでも、逆に
私達まで立派な業績のお裾わけ
を戴いた気分で、再三お願いし
たが駄目でした。印刷屋に急が
されアトに入れる原稿の手配に
困り果て、お願いを重ね、枉げ
て叶えさせていただいたもの。

原稿をお願いした諸兄には忙
しい思いをさせましたが、心を
込めた有意義な記事をお寄せい
ただき感謝にたえません。次の
総会は百周年記念行事と併せて
明年6・7月に行なう旨、役員
会で決定いたしましたので詳細
は改めてご案内されると存じま
す。会員名簿の発行、記念別冊
会報、その他、盛り沢山に企画さ
れると思っておりますので、その節は
よろしく願いいたします。

広告掲載の各位とご紹介下さ
った皆様のご協力、本当に有難
うございました。(長谷川)

年会費・千円
振替口座・東京8-93095番
東京桑野会事務局
広告協賛費(一枠3万円)
会報4号原稿ノ切・58年11月末日
タイトル・12字以内、文章・横書
17字詰33行が1フレーム。
期別・仕事の内容等付記して下さい。